

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

回答率

事業所職員： 5名回答、回答率 100%
保護者様： 26名回答、回答率 100%

職員の意見

○環境・体制整備

こまめな掃除を行い、教室内を清潔に保つよう心がけている。発達支援室内に窓がないため、換気がしにくい面がある。扇風機などを使用して、空気の循環を良くしていく必要がある。規定上、個別の部屋を作ることは難しいが、状況に応じてパーテーションで仕切りを作っている。

○業務改善

定期的に本社での研修に参加しているとともに、教室内でもさまざまな研修を行っている。個々に振り返りシートを作成し、目標と振り返りを上司と共有するようにしている。それ以外でも適宜、ミーティングなど職員の意見を共有できる時間を設けている。第三者評価については今後行っていく予定である。

○適切な支援の提供

話し合い・共有の機会を積極的に設け、どの職員も共通した支援が行えるようにしている。個別支援計画や5領域に沿って前もって活動案を毎月考え、児童それぞれにあった療育道具を使ったり、固定化しないように活動の度合いや内容を話し合い、児童がよりわかりやすいルール設定を行うなど工夫している。

○関係機関や保護者との連携

連携での対応が必要になった時には適宜連絡を取り合うようにし、正確な情報共有に努めている。その一方で、普通級の児童に対しては学校と情報共有する機会が作れていないので、今後増やしていく。保護者の方々とは送迎時だけでなく、家族連携として話ができる時間を設けて、支援の擦り合わせを行っている。地域との連携は中々取れていないため、今後児童館や図書館等と交流する機会を作りたい。

○保護者への説明責任等

連絡帳のコメントに返事をしたり、送迎時に子どもたちの様子を伝えたりしている。自主入退室の児童の保護者に対しては、電話やメールを通じて様子を共有している。保護者からの相談に関しては事業所内での話し合いだけでなく、専門職員に助言を求めたりして適切に支援できるようにしている。特別開室などで、保護者やその家族が参加できる機会を設けているが、なかなか参加に繋がっていないので日程など工夫していきたい。

○非常時等の対応

毎月、安全計画に基づいた避難訓練を行っている。全利用者のアレルギー一覧表を貼り、職員全員が把握できるようにしている。ヒヤリハットにおけるミーティングの機会を適時行い、改善策について全員で共有している。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

「生活空間は、心地よく過ごせる環境になっており、子どもたちの活動に合わせた空間になっている。」というご意見の一方で、「ドライバーさんの配置を希望」「ドライバーさんがいないので困る」という送迎面についてのご意見をいただいたため、来年度(2026年度)に向け配置調整を進めていく。

○適切な支援の提供

「特性に応じた支援をしていただいて、感謝している。」「面談を通してニーズや課題を把握したうえで、個別支援計画が作成されている。」「面談などを通して、子どもとの接し方についてアドバイスをもらっている。」というご意見をいただいた。

○保護者への説明等

「日頃から子どもについて、連絡帳・メール・電話などで連絡を取り合っている。」「お迎えや連絡帳で、子どもの様子について伝え合うことが出来ている。」「日頃から適切な支援をされていると思う。」というご意見をいただいた。

○非常時等の対応

「緊急時対応マニュアル等の説明、避難訓練の実施はきちんと行われている。」というご意見や、「他の事業所では、外出して避難訓練を行っている」というご意見をいただいた。

○満足度

9割の保護者が子どもが通所を楽しみにしていると回答し、全ての保護者から「利用・支援に満足している」というご意見をいただいた。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

長期休みや特別開室の時を活用して、地域の施設(図書館など)を利用し、交流する機会を作る。学校等、各種関係機関と緊密な連携を取れるよう、保護者の方に協力いただいて、関係を構築していく。

○改善できた点・まだ残る課題

特別支援学校や相談支援事業所に加えて、支援級の先生方とは連携がとれているが、普通級の学校とは連携をとる機会がない。今年度も保護者参加の開室を行ったが、参加に繋がらないことが多かったので、沢山の方に参加していただいて保護者の繋がりがもてるように、日程の調整や周知の仕方など工夫していきたい。

アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

ミーティングや事例検討の場を設けて、職員一人ひとりが意見や相談を言い合うことができる環境作りを行い、よりよい活動・支援立案に努めている。

保護者にその日の子どもの様子を送迎時や連絡帳、メールなどで細かく報告をし、自宅や学校での様子との共通点や違いについて共有している。保護者に寄り添い、子どもの成長に関わることができるよう努めている。

○改善点

- ・図書館や学童クラブ等の地域施設との関わりを増やす。
- ・学校や他事業所との連携をより深くもち、子どもたちの支援を行う。

中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・関係機関と連携できる機会を持ち、より深く子どもたちに適した支援を充実させる。
- ・地域の中のひとつの施設として取り組みを充実させ、地域へ周知していく。

○1年間で取り組む具体策

- ・長期休みや特別開室を活用して、図書館等地域の施設へ子どもたちと行き、交流を図っていく。地域の方に施設のことを知ってもらい、連携を図っていく。
- ・関係機関への訪問や情報共有を定期的に行い、利用者に対して多角的なアプローチができるようにする。